

家庭学習の手引き

学校教育目標

- 心も体も健康な子ども
- よく考えて実行する子ども
- なかよくはげましあう子ども



西東京市立東伏見小学校

1, 2年生はこんな時期です。

“知りたい、やりたい、できるようになりたい”という思いにあふれています。がんばったこと、よいところをほめると、素直に受け止めます。一人で学習することややりかたを決めることには、まだ慣れていません。
一緒に取り組んで、やる気を起こす。

毎日の宿題

○音読をする。

口をしっかりと開けて教科書を読む。気持ちを込めて読む。「、」「。」に気を付けてすらすら読む。

○鉛筆を正しく持って、書き順を確かめながら、平仮名や片仮名、漢字の練習をする。

○正しく計算をする。(たし算・引き算)

1, 2年生はこんなことをしてみよう

【国語】

○教科書や音読集から好きな文章を読みましょう。短いものは暗唱(見ないで言えるように)にもチャレンジしましょう。

○「、」「。」に気を付けて、口をしっかりと開けてはっきりとした声ですらすら読みましょう。

○新しく習った感じや、テストで間違えた漢字を練習しましょう。

○鉛筆を正しく持って、書き順を確かめながら練習しましょう。

○読んだ本の題名や筆者の名前、読んでみてどう思ったかを書きましょう。

○一日の中で、心に残った出来事を書いてみましょう。感じたことや思ったことも書きましょう。

○「は」「に」「を」「へ」を正しく使って文を書きましょう。

【算数】

○教科書や計算ドリルの問題を繰り返し解きましょう。

【その他】

○生き物や草花を観察し、気が付いたことを絵や文で記録しましょう。

不思議に思ったことは本やインターネットで調べましょう。

○勉強したことを活かして、工夫して工作に取り組みましょう。

○鍵盤ハーモニカを練習しましょう。

○東京ベーシックドリルに取り組みましょう。

3, 4年生はこんな時期です。

何にでも興味を示し、行動範囲も広がります。

好きなことに熱中して取り組むようになります。

自分でやろうとすることは増えてきますが、まだ手助けは必要です。

認めて、ほめて、自信をもたせる

毎日の宿題

○音読の習慣をつける。

○漢字ドリルなどを見ながら、漢字練習に繰り返し取り組む。

○計算ドリルなどを使って、問題に取り組む。

3, 4年生はこんなことをしてみよう

【国語】

○今勉強しているところを何回読むか自分で決めて、声を出して読みましょう。

(漢字を正しく、気持ちを込めて、聞いている人に意味が分かるように)

○好きな本や他の教科書も読んでみましょう。

○新しく習った感じや覚えていない漢字を練習しましょう。

○国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べ、ノートに書きましょう。

【算数】

○その日に勉強したところの問題を解いて、丸をつけましょう。

○教科書やドリルの問題を繰り返ししましょう。間違えたら「どうして間違えたのか」を考え、間違えた問題は、何度も繰り返し復習しましょう。

○今までに勉強したプリントやテストの問題をもう一度解いてみましょう。

【社会・理科】

○その日に勉強したところや、今度勉強するところを読んでみましょう。

○勉強に関係のあることや「おもしろそうだな」と思ったことを図鑑や事典、インターネットなどで調べてみましょう。

【その他】

○家にある問題集に取り組みましょう。

○音楽は、リコーダーで習った曲を練習しましょう。

○東京ベーシックドリルに取り組みましょう。

5, 6年生はこんな時期です。

自分でできていると思っているので、かける言葉に配慮が必要です。

得意教科や苦手教科を意識するようになります。

体も心も急激に成長しますが、成長を見守って欲しいと思っています。

見守って、伸ばす。

毎日の宿題

○理解しながら音読をする。登場人物の気持ちや情景を思い浮かべながら、抑揚をつけて読む。

○漢字ドリルなどを見ながら、漢字を正確に、丁寧に練習する。

○自分で課題を決めて、調べ学習をする。

5, 6年生はこんなことをしてみよう

【国語】

○詩や短歌・俳句、古典などを、声に出して読んでみましょう。

○好きな分野から、読書を広げてみましょう。

○今まで習った感じの復習をしましょう。

○作文・日記・意見文をかいてみましょう。

【算数】

○ドリルやテストで間違えた問題を、分かるまで何度も解いてみましょう。

【社会・理科】

○学校の勉強や日々生活の中で興味のあることについて調べ、分かりやすくまとめてみましょう。

○教科書やテスト・新聞などに載っている資料やグラフから、情報を読み取って考察を入れてまとめましょう。

【その他】

○東京ベーシックドリルを使って、苦手なところを復習しましょう。

○家にある問題集に取り組みましょう。

○自学として、自分で課題を決めて取り組みましょう。